

## 保証とアフターサービス「持ち込み修理」

■保証書  
保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を受けるか、お買い上げ時のレシートと一緒にして、記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。  
■保証期間中に修理を依頼される場合  
取扱説明書をよくお読みいただき、再度の点検をお願いいたします。  
それでも異常のある場合は、お求めの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。  
保証書の記載内容により、無料修理をさせていただきます。  
■保証期間経過後、修理を依頼される時  
取扱説明書をよくお読みいただき、再度の点検をお願いいたします。  
それでも異常のある場合は、お求めの販売店もしくは弊社お客様相談室にお問い合わせください。  
■保証期間中の修理などのアフターサービスについてのご不明な点は?  
弊社お客様相談室またはお求めの販売店にお問い合わせください。  
※お客様ご自身で分解や修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

## 無料修理規定

本保証書は、保証記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。「無料修理保証期間」中に故障が発生した場合は、当製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
●ご購入時に必ず、所定記入欄に販売店欄への記入を受けるか、レシートと一緒に保管してください。  
※販売店名とご購入日が確認できない場合は、保証期間内であっても保証が受けられない場合があります。

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

- 1.取扱説明書並びに本体添付のラベル等の注意書きに従った正常な使用で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 2.ご転居、贈答品等で販売店に修理依頼できない場合は、取扱説明書に記載の弊社お客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
  - a) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
  - b) 買い上げ後の取扱場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
  - c) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧等の他の外部要因による故障及び損傷。
  - d) 一般家庭以外(例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
  - e) 保証書のご提示がない場合。
  - f) 保証書に販売店名とお買い上げ日の記載が記入がなく、レシートもない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - h) 運送費、諸掛かり費用は基本的にはお客様にてご負担になります。
- 4.本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in JAPAN.

※本保証書は明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※保証期間終了後の修理等についてご不明な場合は、弊社お客様相談室またはお買い上げの販売店にお問い合わせください

保証書			
品名	センサーソケットシンプル	型番、品番	PIR-509N 04-7045
保証期間	お買い上げより1年間	お買い上げ日	年月日
お客様	ご住所 お名前、電話番号		
販売店	所在地 店名 電話番号		

■お客様にご記入いただいた保証書の記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

■この保証書は、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

◎OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
http://www.ohm-electric.co.jp  
お客様相談室  
通話料無料  
0120-963-006  
電話 受付 平日 9:00~17:30  
携帯・IP・公衆電話からは  
048-992-2735  
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

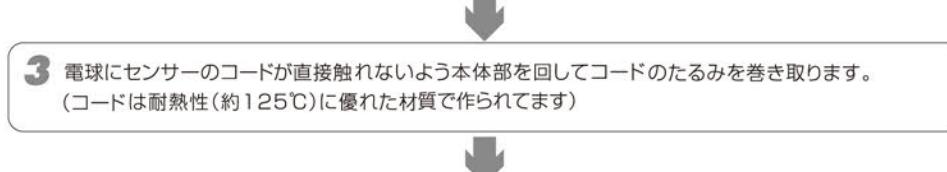
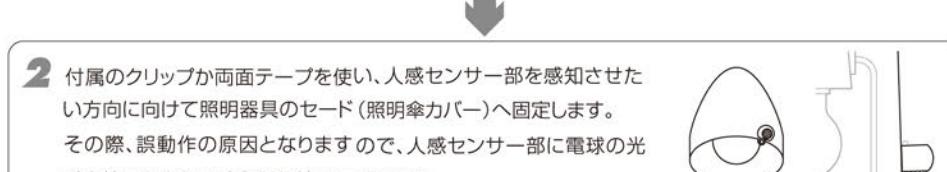
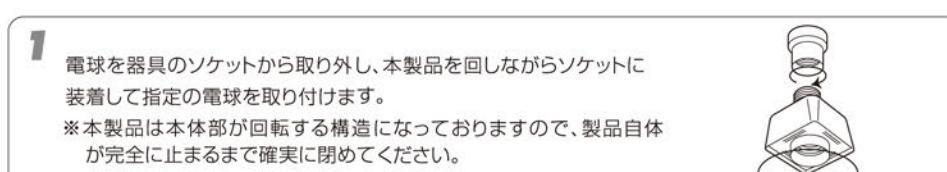
2014/2

## 安全上のご注意

警告	<ul style="list-style-type: none"><li>本製品は屋内専用です。防水防滴仕様ではありませんので、雨や水しぶきのかかる場所や湿気の多い場所には取付けないでください。</li><li>危険ですので、絶対に分解や改造をしてください。故障や火災、感電の原因となります。</li><li>ぐらぐらしたり破損しているソケットには取付けをせず、電気工事店で修理後に取付けてください。</li><li>指定以外の電球や電圧での使用はしないでください。故障や火災の原因となります。</li><li>濡れた手で本製品を取り付けたり、照明器具側の口金受入部分を触らないでください。感電の原因となります。</li></ul>
注意	<ul style="list-style-type: none"><li>本体の回転部分に無理な力を加えたりしないでください。破損の原因となります。</li><li>本製品の取付けや電球交換の際は、必ず照明のスイッチを「OFF(切)」にしてください。</li><li>電球交換時は、電球の温度が高い場合があります。十分に冷えてから交換してください。やけどや感電・火災の原因となります。</li><li>本製品の取付けや電球交換時には高所での作業になりますので、足を踏みはずしたり落下させないよう十分にご注意ください。</li><li>センサーを電球に近づけ過ぎたり、エアコンやヒーターの吹出口付近に取付けないでください。誤動作や故障の原因となります。</li><li>お手入れは、乾いた布で拭いてください。シンナーやアルコールの使用はお避けください。</li></ul>

## 設置方法

本製品を取り付ける際は必ず、照明器具のスイッチを「OFF(切)」にしてください。また、電球の取り外し時、高温でやけどすることがございますので十分にご注意ください。



人感センサーが人を感知すると点灯します。  
※消灯した後すぐに動いてもセンサーがリセットされる数秒間は点灯しません。

型番：PIR-509N 商品番号：04-7045

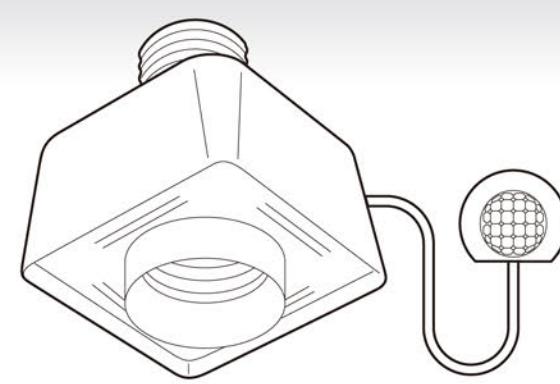
## センサーソケットシンプル

### 取扱説明書 (保証書付き)

保管用

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。また、お読みになられた後も、いつでも見られるよう大切に保管してください。

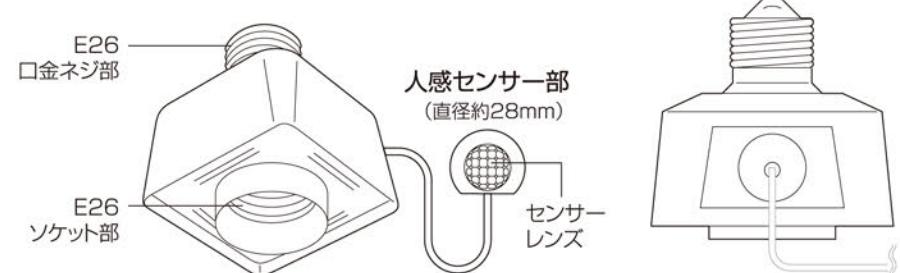


## 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	動作 温 度 範 囲	-15°~50°
口 金 サ イ ズ	E26	外 形 尺 寸 法 (約)	幅60mm×高さ75mm×奥行66mm
使 用 可 能 電 球	100/110V 白熱電球60Wまで (消費電力)電球型蛍光灯22Wまで/LED電球	質 量 (約)	本体95g
待 機 電 力	1.3W以下	点 灯 時 間	約60秒
付 属 品	取付けクリップ、両面テープ(2枚)		

## 各部の名称

本体部 本体寸法 約 60(W)×75(H)×66(D)mm



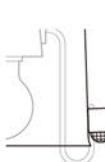
## 使用上の注意

1.セード(照明傘カバー)が無い電球ソケットに取り付ける場合は、図のように人感センサー部を製品本体に横向きに固定してご使用ください。  
※人感センサーを下に向けると誤動作の原因となります。



2.初回動作時は動作が安定するまで多少の時間がかかります。

3.セード付き照明器具をご使用の際、用途や感知範囲により、人感センサーの固定面は2箇所から選べます。  
より広い範囲で感知させるには下向き↓に、より遠くの距離で感知させるには横向き→に人感センサー反応部を取り付けてください。



4.人感センサー部に電球の光が直接入ると誤動作の原因となりますので、人感センサーは電球の光が直接はいらないようセードの外側に取り付けてください。

5.照明器具の形状や材質によってはセードへの人感センサー取付け時に傷が付いたり、両面テープの跡が残ります。また、セードの直径が10cm以下の器具には取り付け困難な場合がございますので、そのような際は、セードを取り外してご使用ください。

6.消灯した後の数秒間は、感知範囲内で動いてもすぐ點灯しませんが、故障ではありません。センサーがリセットするための待機時間となります。

7.人感センサー部に電球の光が直接あると誤動作することがあります。取り付けの際は電球の光が直接あたらない位置にセンサーを固定してください。また、人がいない場所で消灯後に自動点灯を繰り返す場合は、人感センサーが誤動作を起こして可能性がありますので、その時はセンサーの取り付け位置を変更してください。

8.人感センサーの取り付け位置や角度によっては、センサーの感度や感知範囲に差が出ることがあります。その時はセンサーの向きを調整してご使用下さい。

9.人感センサーは温度差と移動角度に対して感知します。次のような場合はセンサーの反応に変化がでやすく感知性能が落ちたり誤動作するおそれがありますのでご注意ください。

- a.取り付けた場所の室温が32°Cを越え、人の体温との差が少ない場合
- b.取り付けた人感センサーの正面に向かってまっすぐ歩いたとき(人が近く方向にセンサーの正面を向けて取り付けた場合)
- c.通路とセンサーの間に障害物があり、見通しが良くない場合
- d.感知範囲内に、電気ポットや炊飯器、エアコンなどが置いてあり温度変化の起きやすい場所
- e.5m以上センサーから離れた位置での少しの移動やヘルメットや手袋など全身を被った服装での動き